

## 行財政改革推進会議における審議内容(概要)

諮問第2号 「費用対効果を踏まえた循環バス「いなまる」の運行形態の方向性について」

### ○開催日

第1回 平成29年 3月27日 諮問 事務局説明及び質疑応答

第2回 平成29年 6月26日 答申案の検討及び取りまとめ

第3回 平成29年10月 2日 答申

※平成29年 5月11日 「いなまる」体験乗車会を実施

会議のなかでいただいた意見を以下のとおり項目ごとにまとめました。

### ○あり方・運行費用について

- ・やめるわけにはいかない
- ・目的及び役割を明確にすべき
- ・循環バスは充実させるべき
- ・少しでも収益が上がるようにすべき
- ・もっと広い層に利用してもらえる形を考えるべき
- ・費用対効果を狙うのは間違い
- ・費用対効果の考え方……効果＝「町民満足度が高いこと」だ

### ○バスの台数・規格について

- ・30人乗りは大きすぎる。小型化すべき
- ・2台運行とすべき
- ・小型(2人乗りなど)との組み合わせを考えられないか
- ・乗り切れない事態の対応策を用意するべき

### ○運賃(利用料金)について

- ・利用者料金の見直しを行うべき
- ・無料としている70歳以上の利用者からも運賃を徴収できないか
- ・値上げは適切でない

### ○運行形態(時刻・ルート)・利便性・利用率向上策について

- ・アンケート結果を踏まえ運行方法を検討すべき
- ・医療機関、ショッピングセンター及び銀行に係るバス停を利便性を高めるように設置すべき
- ・契約期間(減価償却期間)を3年とし、ルート等をフレキシブルに見直せるようにできればいい

- ・便数を減らすわけにはいかない
- ・逆回り便もあったほうがいい
- ・こまめに回れるようにするのがよい
- ・きめ細やかな運行、増便などニーズへの対応には限界がある
- ・乗り継ぎが肝心だ
- ・民間及び周辺自治体バスとの連携が必要
- ・地元の助け合い団体との連携も必要
- ・快速運行できないか
- ・運行ルート内での希望下車制度ができないか

## ○その他

- ・免許返納に対応するため、コミュニティバスを活用する必要がある
- ・もっとPRすべきだ
- ・現行いなまるの一便当たり運行経費(3,448円)以下の負担でデマンド方式の実現が考えられないか
- ・デマンドバスは、循環バスよりも良いとは言えない
- ・デマンドは追加意見とすることもよいのでは
- ・きめ細やかに対応するための策としてはタクシーチケットの配布もいいのでは

これらの意見が委員から出され、これを集約したものとして答申を作成しました。